

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の値	目標の値	単位の値	本年度の値	単位の値
五條市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	学校適正化により、各校園の校区が広域となり、地域との連携や地域住民の教育活動への参画・協働が難しい。ボランティアの確保と活動の場を広げていく必要がある。	市のホームページや広報誌により「スクールサポートボランティア」の登録制度や活動内容について情報発信し、各校園で活動するボランティアの確保に努めている。	地域コーディネーターの活動日数を増やし、教職員とのコミュニケーションを大切にしながら、必要とする活動内容と目標を設定する。目標達成にどのような人材が必要かを明確にし、地域コーディネータと連携しながらボランティアの確保と活動機会の拡大に努める。	地域人材の発掘とボランティアの確保をし、地域学校協働活動を充実させ、子どもたちの学びと地域の人々の生きがいづくりを目指す。	各地域学校協働本部で年間に実施する地域学校協働活動に参加する市全体のボランティアの延べ人数	5820	人	6000		5900	

ボランティアの発掘に際して、ボランティアとしての活動目標、活動内容を明確にすべきであり、今後はそれらを明確にし、ボランティアを募集していき、地域と共にある学校の構築を推進したい。